

ふくづかこふん 福塚古墳

【所在地】岐阜県揖斐郡大野町寺内

【築造時期】7世紀前半

周辺の古墳群 福塚古墳（宮東2号墳）は南へ緩やかに傾斜する扇状地の西端、北の鴈俣山から南にのびる尾根の東山麓に立地する。本墳の周辺には約10基の古墳が点在し、宮東古墳群を形成しているが、現存するのは数基のみで、このうち北方に位置する宮東4号墳（寺内山之講）と福塚古墳（宮東2号墳）は古墳時代終末期の首長墓と考えられる（図1）。

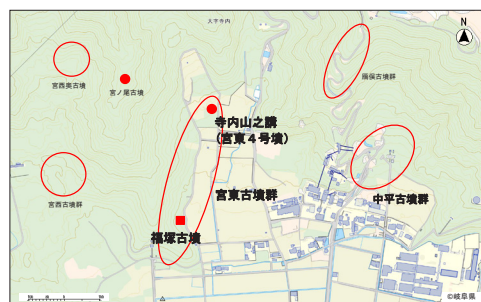


図1 古墳群位置図

さらにこの宮東古墳群の東方約600mには中平古墳群（大野町史跡）が、14基からなる古墳から形成されている。このうち1号墳と4号墳は墳丘の規模も大きく首長墓と思われるが、福塚古墳や宮東4号墳のような単独墳ではなく、群集墳のように一定の墓域のなかで造墓されている違いがある。

墳形の特徴 福塚古墳は立体地図の判読により作成された等高線図から、ほぼ正方形となる方墳であることが判明した。墳丘は標高47mから48m付近で一旦平坦なところがみられるため、二段築成とも考えられる（図2）。墳頂は標高約48.6mとなるため、これをもとにした墳丘の高さは山側で約3.2m、谷側で約6.6mとなる。埋葬施設は横穴式石室と考えられるものの石材などは埋もれていて確認できず、詳しいことはわかっていない。

古墳の背後にある山腹は墳丘を造成するときにはできたと思われる方形に近い整地の痕跡が確認でき、築造時に大きく地形を改変していることが読みとれるが、周溝などの深みなどは現況では確認できていない。

古墳の意義 福塚古墳は一辺約23mの二段築成となる大型方墳と判明し、埋葬施設や葺石などの情報がないものの、墳丘の特徴などから古墳時代終末期の首長墓と考えられる。

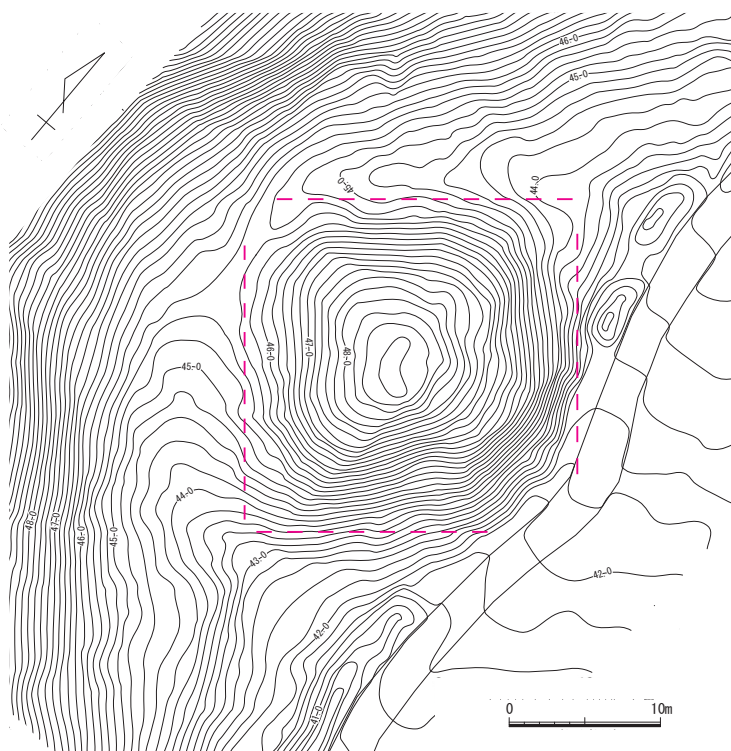


図2 福塚古墳墳丘図 (S=1/500)

大野町では5世紀から6世紀にかけて野古墳群にみる登越古墳、南屋敷西古墳、城塚（南出口）古墳の前方後円墳が連続して築造されている。福塚古墳の築造は野古墳群にみられた前方後円墳が大型方墳に変質していることを物語る。

3世紀からつづいた前方後円墳の築造が終焉を迎えて方墳へと変化する動きは、大野町だけでなく汎列島の政治的動向によるものと考えられている。福塚古墳は大野町だけでなく、美濃の7世紀社会を考える上でも重要な古墳である。

みやひがしよんごうふん 宮東4号墳

【所在地】岐阜県揖斐郡大野町寺内

【築造時期】7世紀前半

周辺の古墳群 宮東4号墳が位置する宮東古墳群は鴈俣山から南にのびる尾根上ならびに南へ緩やかに傾斜する扇状地の西端に展開する。古墳群は開墾などにより削平された古墳を含めると、約10基から形成していたと考えられる。そのなかでもっとも北に位置するのが4号墳(寺内山之講)で、やや離れた南西には福塚古墳が立地している(図3)。

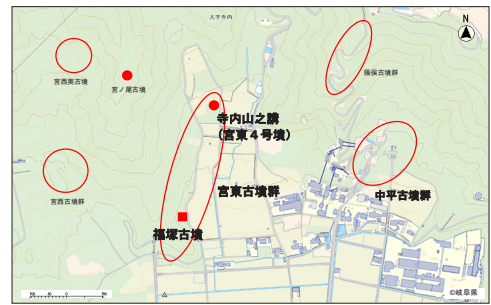


図3 古墳群位置図

古墳群の概要 宮東4号墳が属する宮東古墳群は小川栄一が調べた『揖斐郡古墳調書』によれば、開墾により削平された2基の古墳のほかに崩落した石室1基が記録されている。しかしながら記録された3基は現在どの古墳に該当するかは不明である。

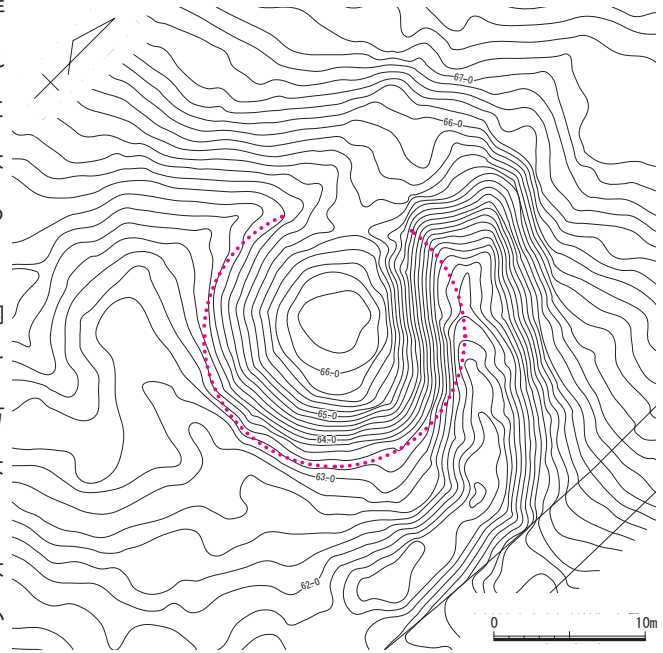


図4 宮東4号墳墳丘図 (S=1/500)

また平成21年度に実施した調査では、寺内神明社の東側尾根上にも3基の古墳が確認され、聞き取り調査においても福塚古墳の東方100mに古墳が存在したことが明らかになるなど古墳の数はさらに多くなる可能性がある。

古墳の意義 宮東4号墳はこうした古墳群のなかにあつて、立体地図から判読した等高線図からは直径約20mの大型の円墳になることが判明した。墳丘の高さは墳丘南側で3.6mほどになるが、周囲をめぐる周溝の底から見ればさらに高くなる。埋葬施設は横穴式石室と考えられるものの現状では詳細は不明である。しかしながら墳丘形態や立地などを考慮すれば、福塚古墳と同じく古墳時代終末期の首長墓と考えられる。また古墳からは単独に立地しながらも東西の尾根と谷奥の三方に囲まれるなど、当時の墓づくりの思想をうかがうこともできる。

宮東4号墳は福塚古墳とともに同じ古墳群に属する首長墓でありながら、方墳と円墳という異なる墳形を採用しているのは、前方後円墳から方墳や円墳へと変動する地域首長墓の姿をそのまま反映したのではないと思われる。

宮東4号墳は福塚古墳とともに同じ古墳群に属する首長墓でありながら、方墳と円墳という異なる墳形を採用しているのは、前方後円墳から方墳や円墳へと変動する地域首長墓の姿をそのまま反映したのではないと思われる。

【参考文献】 小川栄一著作 『揖斐郡古墳調書』(の原典)

大野町教育委員会 2009 『大野町遺跡詳細分布調査報告書資料(考古)編』

大野町教育委員会 2021 『大野町埋蔵文化財試掘・確認調査等報告書 一平成30年度～令和2年度一』

広瀬和雄 2013 「終末期古墳の歴史的意義—7世紀の中央政権の地方統治—」『国立歴史民俗博物館研究報告』第179集

編集：科学研究費基盤研究(B)「三関周辺における古墳時代から古代の地域動態に関する総合的研究」

(22H00712) 2023年度(岡田勝幸・中井正幸)

発行：大野町教育委員会